

熱田小児科クリニック掲示板

12月のテーマ 『感染性胃腸炎』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

感染性胃腸炎とは…細菌やウイルスなどの病原体による」感染症です。ウイルス感染による胃腸炎が多く、毎年秋から冬にかけて流行します。突然の嘔吐、下痢、腹痛や発熱などの症状を起こします。感染性胃腸炎の中で代表的なものとしては、ウイルスにより起こるウイルス性胃腸炎と細菌によって起こる細菌性腸炎があり、これらは感染性胃腸炎の大半を占めています。

ウイルス性胃腸炎

- ①ロタウイルス→冬期のウイルス性胃腸炎の大半を占めます。一日に何度も白っぽい米のとぎ汁のような下痢をする。
- ②アデノウイルス→一年中ありますが、夏から秋期にやや多く見られます。ロタウイルスに比べて軽症で発熱も少ない。
- ③ノロウイルス→冬の時期に多く発生します。感染力が強いため集団発生します。

治療

- ・このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。
 - ・下痢と嘔吐で急速に水分が失われるので、脱水にならないように、こまめに水分補給をすることが大切です。
(塩分、電解質を含む経口補水液で水分補給をしましょう。)
- 脱水による電解質の乱れが原因で、けいれんがみられることもあります。

- ・おしりのケア

(汚れたらすぐにシャワーや浴座できれいに洗い流しましょう。おしりふきでこすると、刺激となってただれてしまうので気を付け、早めに軟膏などで対処してあげましょう。)

処理方法

- ・便や嘔吐物を処理する時は、使い捨ての手袋を使用しましょう。
- ・便や嘔吐物は、ペーパータオルなどで取り除きビニール袋に入れて捨てましょう。

(便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれているので処理には十分に注意しましょう。ウイルスは乾燥すると空気中に漂い、これが口に入って感染することがあるので便や嘔吐物を乾燥させないことが重要です。下痢の症状がなくなった後も1週間は便に何兆個もウイルスの排出が続きます。)

感染予防

- ・手洗いを徹底しましょう。
- ・熱湯あるいは塩素系漂白剤や哺乳瓶用の消毒液などでしっかり消毒しましょう。
(市販の塩素系漂白剤なら50倍から100倍に薄めて使用)
- ・調理器具、おもちゃ、衣類、タオルなどは熱湯(85℃以上)で1分以上の加熱が有効。